

吹奏樂が気になる人へ

日大新聞



「宝島」を練習する吹奏楽部

今回は札幌日大高校の吹奏楽部にお話を聞くことが出来ました。私は音楽経験があるものの合奏については全くの初心者なので、吹奏楽にはとても強い関心を

11月29日
土曜日

記念号外



抱いています。折角のとても貴重な時間ということで、私や私と同じように吹奏楽に興味を持つ人のために、いくつかの質問を用意してきました。その中から、「実際に楽器を演奏する時に何を心がけているのか？」について、6名の吹奏楽部員の方に伺います。全員が口を揃えて仰ったのは、他の人の音をよく聴くということでした。楽器を弾くのは個人でも、協調することが吹奏楽にとって最も大事なことということですね。部員さんたちの心に深く刻まれたその言葉は、札幌日大吹奏楽部のスローガ

ンである「一体感」そのものと感じました。平日に6時間も自分の楽器や他の部員と過ごし、愛と一体感がひしひしと伝わってくる吹奏楽部員の皆さん。また次に演奏を聴くことが楽しみになるインタビューでした。(斎藤碧人)



部員 = 細川陽向さん、部長 = 小林泰樹さん
共に2年